

## 7-2 小学校 5年生社会科 指導事例 「森林とわたしたちの暮らし」 (森林資源の働き)

### 【単元目標】

国土の保全などのための森林資源の働きについて調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

### 【目指す子ども姿】

社会的事象に携わる当事者の思いについて多角的に考え、自分の考えを再構築し、表明する姿

### 1 本単元の流れと「政治的教養を育む学びのプロセス」との関係

学 習 活 動 (全11時間)	ポイントになる学びのプロセス
<p><b>森にはどんな働きがあるのかな？⑤</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源の働きについて知る。</li> <li>・森林資源の育成に従事している人々がいることを知る。</li> </ul> <p><b>森へ調べに行こう②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林保全ボランティアをしている人と出会い、ボランティア活動について知る。</li> </ul> <p><b>自分だったらボランティアできるだろうか？①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林保全ボランティアの活動を続ける人の思いを予想する。</li> </ul> <p>C：森について説明してくれたAさんは、ボランティアで保全活動をやっているって言っていました。そのことで考えたんだけど、なぜAさんはボランティアをやろうと思ったのかな。</p> <p>C：僕は暑いのが苦手だから、僕だったらボランティアはできない。</p> <p>C：Aさんは、なぜそこまでしてボランティアをするのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験をもとに自分なりの考えをもつ。</li> </ul> <p><b>Aさんは、なぜそこまでして森林保全ボランティアをするのだろうか？①(授業展開例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を根拠にクラスで話し合い、森林保全ボランティアの方の願いや思いを知る。</li> <li>・友だちの考えや当事者の思いにふれることを通し、森林保全の意義について考えを深めていく。</li> </ul> <p><b>森を保全していくにはどうしたらよいのだろうか？②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを生かし、これから自分（自分たち）ができることを考える。</li> </ul> <p>C：Aさんみたいにボランティアをするまでにはいかないけど、森や自然環境について興味関心をもつことぐらいだったらできそう。</p> <p>C：Aさんは、子どもの頃に自然の中でたくさん遊ぶことが大切だって言っていた。それぐらいだったらできそう。将来、僕たちが大人になった時保全活動してみようという気持ちに変わるかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の振り返りをする。</li> </ul>	<p>ポイント</p> <p>自分の考えを再構築する</p>

## 社会科（５～６年生）における「政治的教養を育む教育」につながる授業展開例

- T 「それでは、今日は前々回の授業でみんなが問題にした『Aさんは、なぜそこまでして森林保全ボランティアをするのだろうか？』について、話し合います。それぞれ調べたことや学習したことを生かして考えたことを発言してください。」
- C 「ぼくは他のボランティアの人に聞いたんだけど、小網代の森（※）は関東地方でもとても貴重な森だと言っていたから、貴重なものをずっと残していきたいと考え、大変なボランティアを続けているんだと思います。」
- C 「わたしも同じ意見で、自分だったら夏の暑い時に森の手入れをするボランティアの仕事はとてもできないと思う。やっぱり貴重だから残したいっていう強い思いがあるから、ボランティアを続けているんだと思う。」
- C 「ぼくはちょっと違う意見なんだけど…。小網代の森は、社会科で勉強したけど、最近観光地になっているじゃない。観光客に喜んでもらうためにやっているんじゃないかな。じゃないと、とてもボランティアは続けられないよ。」
- C 「あの…、みんなとちょっと違う意見なんだけど。わたしは、Aさんは、本当に森が好きなんだと思う。Aさんに会った時、Aさんが子どもの頃森で遊んだ話を楽しそうに語ってくれたじゃない。あの時のAさんの顔を思い出して考えたんだけど、Aさんは純粋に森が好きで、難しいことを考えるよりも森のために何かできることはないかと思ってボランティアをしているんだと思う。」
- (中略)
- ポイント**
- T 「たくさん考えが出ましたね。実はAさんに話を聞いてきました。これから、Aさんの思いをVTRで流します。Aさんの話を聞いてみましょう。」
- (後略)

## 2 政治的教養を育むためのポイント

### ポイント

### 当事者の思いをじっくりと考え、話し合う時間を設けましょう

社会に参画しようとする気持ちを育むためには、当事者の思いを知ることが大切です。上述のように、当事者の思いをじっくりと考え、話し合う時間を設けましょう。この過程を経ることで、当事者の思いが児童に伝わりやすくなります。

また、話の聞かせ方には「直接聞く」「VTRを視聴する」「インタビューした内容を文字化し、資料として配付する」など様々な方法があります。児童の実態に合わせ、方法を選択しましょう。

(※) 小網代の森…神奈川県三浦市にある森林。源流から海まで自然の生態系が連なる森林は、関東地方では唯一の場所である。開発計画の頓挫、ボランティア活動による森林の復元等の歴史をもつ。神奈川県では自然環境の保全・再生を進めている。